

# 自死・自殺に 本気で向きあおう

登壇者

作家・活動家

雨宮処凛氏

作家・エッセイスト

末井昭氏

2015年 2月 28日 土

キャンパスプラザ京都 第1講義室  
13:00~16:00

終了後 16:00~16:30 ボランティア説明会をおこないます

入場無料  
申込不要

主催

特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター  
<http://www.kyoto-jsc.jp> ☎075-365-1600

# 自死・自殺を “伝える” ということ

自死・自殺にまつわる想いは、ひとりひとり違う。そのため、その想いを人に伝えることは、簡単ではない。このたび自死・自殺の本を世に出された二人の作家をお迎えして、ディスカッションを行う。

なぜこの本を書いたのか？誰に何を伝えたいのか？

死にたい想いを抱えた方に、どんな言葉をかけたらいいのか？

死にたい気持ちはどうすれば分かってもらえるのか？

自死・自殺について“伝える”ことの意味について、ご来場の方の意見も取り入れながら、共に考えてみたい。

## パネリスト紹介

### 雨宮処凛

(作家、活動家)



1975年、北海道生まれ。2000年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』（太田出版）を出版し、デビュー。以来、若者の「生きづらさ」や格差、貧困問題に取り組み、取材、執筆、運動中。2007年に出版した『生きさせろ！難民化する若者たち』（太田出版）はJCJ賞（日本ジャーナリスト会議賞）を受賞。「反貧困ネットワーク」世話人、「週刊金曜日」編集委員、「こわれ者の祭典」名誉会長。

### 末井昭

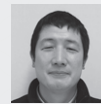
(作家、エッセイスト)



1948年6月14日、岡山県和気郡（備前市）吉永町生まれ。工具、看板描き、イラストレーターなどを経て、セルフ出版（現・白夜書房）の設立に参加。「ウイークエンドスーパー」「写真時代」「パチンコ必勝ガイド」などの雑誌を創刊。2012年に白夜書房を退社、現在はフリーで編集、執筆活動を行う。『自殺』で第30回講談社エッセイ賞受賞。平成歌謡バンド・ベーススのテナー・サクスを担当。

### 竹本了悟

(Sotto)



1977年広島生まれ。防衛大学校卒業後、海上自衛隊に入隊するが僧侶となるため退官。龍谷大学大学院修了。現在は、浄土真宗本願寺派総合研究所研究員。2010年に京都自死・自殺相談センターを10名の仲間と設立、代表を務めている。

コーディネーター

### 生越照幸

(自死遺族支援弁護士)



弁護士。1970年生まれ。東北大学工学部卒業、同大学院国際文化研究科修了、「自殺実態白書2008」製作コアメンバー、厚生労働省「職場におけるメンタルヘルス対策検討会」メンバー、一般社団法人自殺対策全国民間ネットワーク監事、自死遺族支援弁護士事務所局長。2012年よりライフパートナー法律事務所を設立。大阪弁護士会所属。

## スケジュール

- 13:00 開会
- 13:10 テーマ1
- 14:20 休憩
- 14:35 テーマ2
- 15:45 閉会
- 16:00 ボランティア説明会

## 案内

### 平成27年度 第7期ボランティア募集

当日説明会をおこないます

## 交通アクセス

キャンパスプラザ京都（ビックカメラ前、JR京都駅ビル駐車場西側、駅から徒歩5分）



## お問い合わせ

特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター事務局

〒600-8349 京都市下京区堺町92 ☎ 075-365-1600 🌐 <http://www.kyoto-jsc.jp/>

このシンポジウムは京都府自殺対策事業補助金を受けて開催します。

